



山田中学校



豊間根中学校

## 学校再編計画

# 32年度に学校統合 3小学校1中学校へ



豊間根小学校



山田南小学校



山田北小学校



大沢小学校



荒川小学校



大浦小学校



船越小学校



轟木小学校



織笠小学校

### 平成32年度に実施する 小中学校の再編計画

豊間根中学校 → 山田中学校へ  
山田中学校 → 統合

船越小学校 → 単独存続

大沢小学校  
山田北小学校  
山田南小学校  
織笠小学校  
轟木小学校  
大浦小学校  
→ 新たな学校として統合  
※平成35年に新校舎建設を予定

豊間根小学校  
荒川小学校 → 統合

統合内容一覧

今回決定した再編の内容は、平成32年度から小学校3校、中学校1校に再編するというものです。

小学校9校のうち大沢小学校、山田北小学校、山田南小学校、織笠小学校、轟木小学校、大浦小学校を閉校し、新たな学校を新設します。また、荒川小学校

**新設開校へ向け  
準備委員会発足**

小学校6校を統合してできる新設校は、新たな学校として開

### 小学校3校 中学校1校へ

を閉校し、豊間根小学校と統合。船越小学校は単独で存続します。そして、中学校は豊間根中学校を閉校し、山田中学校と統合することになります。

これまで町が実施してきた住民説明会の結果を受け、平成32年度から小学校3校、中学校1校に再編することが決まりました。これにより、町内の複式学級は全て解消されることとなります。子どもたちの「健やかな育ち」に向け、本町の教育への挑戦は続きます。

- 校します。そのため、  
①学校名②校歌③校章  
④運動着⑤通学方法⑥  
PTA活動——などを  
検討する必要があります。  
これらについては、  
新設校開校へ向けて発  
足する準備委員会の中  
で検討することとして  
います。

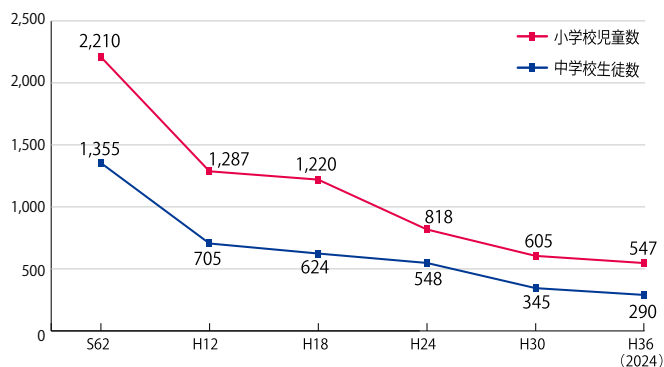
なお、校舎について  
は当面の間、山田南小  
学校の校舎を活用し、  
平成35年度の完成を目  
標に、新校舎の建設を  
検討していきます。

## 町内全小学校で 複式学級が解消

学校再編の気運が高まっ  
た大きな理由は、児童・生徒数  
の減少による学級減と複式学級  
の増加です。

左上のグラフは、本町の児  
童・生徒数の推移を表したも  
です。児童・生徒数の減少が顕  
著に表れています。また左表か  
らは、児童数の減少により、複  
式学級を持つ学校が多くなっ  
ていることが分かります。今回  
行われる学校再編により、町内全

◆山田町の児童・生徒数の推移



◆各小学校の複式学級数の推移

学校名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (見込み)
豊間根小学校	0	0	0	0	0	0
荒川小学校	2	2	2	3	2	3
大沢小学校	0	0	0	1	1	1
山田北小学校	0	0	0	0	1	2
山田南小学校	0	0	0	0	0	0
織笠小学校	2	3	2	2	2	2
轟木小学校	3	3	2	2	2	2
船越小学校	0	0	0	0	0	0
大浦小学校	2	2	3	3	2	2
合計	9	10	9	11	10	12

## 各校創立の歴史

学校名	創立年度	備考
山田中学校	昭和40年 (創立53年)	大沢・山田・織笠・船越 中学校を統合して開校
豊間根中学校	昭和22年 (創立71年)	豊間根村立豊間根中学校 として開校
船越小学校	明治8年 (創立143年)	田の浜学校として開校
大浦小学校	明治10年 (創立141年)	船越学校大浦分校として 観音堂に開校
織笠小学校	明治8年 (創立143年)	民家を借りて開校
轟木小学校	明治15年 (創立137年)	織笠分校として白石の民 家を借りて開校
山田南小学校	昭和57年 (創立37年)	山田小学校を2つに分け 開校
山田北小学校	昭和57年 (創立37年)	山田小学校を2つに分け 開校
大沢小学校	明治9年 (創立142年)	南陽寺を校舎として開校
豊間根小学校	明治8年 (創立143年)	宝珠院を校舎として開校
荒川小学校	明治9年 (創立142年)	曾根部落に民家を借りて 開校

小学校で複式学級が解消さ  
れることとなります。  
有識者や保護者の代表な  
どが委員になって行われた  
山田町学校規模適正化検討  
委員会でも「子どもたちが  
義務教育を終え、将来社会  
で活躍していくことを考え  
ると、量的にも質的にも豊  
かな人間関係の中で、社会  
的能力やコミュニケーション  
能力を付けさせたい」と  
の考えを示しています。

## 中学校では クラス替え可能に

現在、豊間根中学校は各  
学年1学級ですが、再編に

より全学年でクラス替えが  
可能となります。また、部  
活動数に差が無くなること  
で、部活動選択の幅が広が  
ります。  
**児童・生徒が  
健やかに育つ町へ**  
児童・生徒数が減少する  
中、「どのように教育環境を  
整え、子どもたちが健やか  
に元氣よく育つことができ  
る学校を作っていくか」と  
いう前向きな発想で住民の  
皆さんと話し合いを進めて  
きました。山田町の新しい  
教育への挑戦は、今後も続  
いていきます。

## 小中学校 再編への歩み

平成20年 このころから学  
校再編について、議会の  
一般質問で取り上げられ  
るようになる。

23年3月 東日本大震災発  
生。子どもたちへの影響  
などを鑑み、学校再編の  
議論は先送りとなったが、  
教育委員会など、内部で  
の検討は重ねていた。

29年11月 有識者や保護者  
代表、地区の代表者など  
から構成される第1回山  
田町学校規模適正化検討  
委員会を開催。その後12  
月、翌年2月と、第3回  
まで開かれ、小中学校の  
適正規模および適正配置  
について意見・提言がま  
とめられた。

30年6月 住民説明会を学  
校区ごとに開催。第2回  
説明会から再編について  
の採択を実施し、学校区  
によつては第4回まで開  
催した。

31年2月 住民の意向をも  
とにした再編計画案を議  
会全員協議会で提案した。